

- 関係法規
- 都教育目標
- 区教育目標（基本方針）
 - ・人権尊重、社会貢献の精神
 - ・豊かな個性、創造力の伸長
 - ・家庭教育の支援と子供たちの健全育成
 - ・子供に対する一貫した支援
 - ・自然環境の保全と文化遺産の保存・活用・継承

- ### 学校教育目標
- すすんで考え、くふうする子ども
 - あたたかい心もち、人と協力する子ども（重点目標）
 - けんこうで、ねばり強い子ども

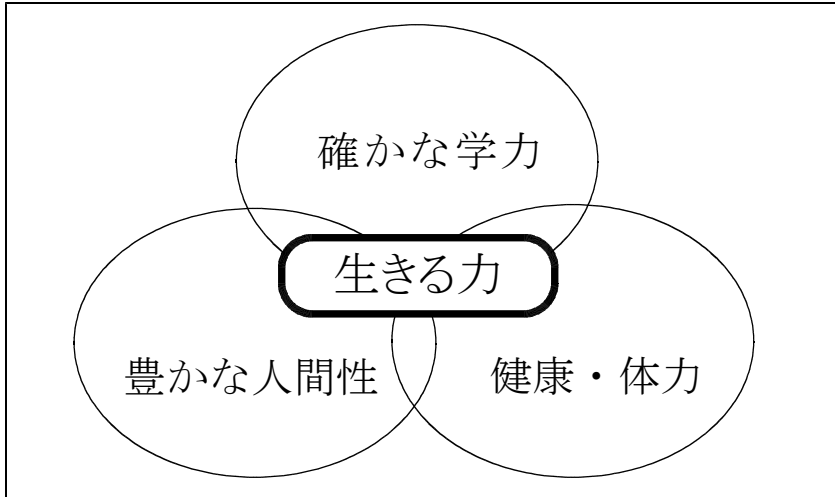
- 児童の実態
 - ・明るく素直
 - ・自主的活動や自己表現力が弱い
- 地域・保護者の願い
 - ・確かな学力の定着
 - ・楽しい学校生活や行事
 - ・豊かな人間性
- 期待される児童像
 - ・すすんで物事に取組み、実践できる子
 - ・自他を思いやり、協力できる子
 - ・心身ともに健康に留意できる子

- #### 各教科の指導の重点
- 学習意欲と課題意識をもち、基礎的・基本的事項の定着
 - 児童一人一人の特性を理解し習熟度や課題に応じた指導
 - 体験的活動を通じた課題解決能力の育成
 - 多様な言語活動の充実

- #### 学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
- ・学力向上を目指した授業改善
 - ・学習習慣の定着
 - ・基礎・基本の定着

- #### 道徳教育の指導の重点
- 家庭や地域社会との連携
 - 集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験
 - 他教科・領域との関連を図りながら計画的、発展的な指導
 - 道徳的価値の自覚および自己の生き方についての考えを深めた道徳実践力の育成

- #### 総合的な学習の時間の指導の重点
- 主体的に課題を見付け、協働して問題の解決に取り組ませる指導
 - 地域性を生かした指導の充実



- #### 特別活動の指導の重点
- 多様な他者との協働
 - 集団への所属感、自他の尊重
 - 自主的、実践的な態度の育成
 - 指導計画の下、活動の計画、評価・改善

- #### 外国語活動・外国語の指導の重点
- 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能の育成
 - 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力の育成
 - 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

確かな学力

知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動しよりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの

課題発見能力	思考力	判断力	表現力	課題解決能力	学ぶ意欲	知識・技能	学び方
--------	-----	-----	-----	--------	------	-------	-----

- #### 生活指導の重点
- 危機回避能力の育成
 - 基本的生活習慣の定着
 - 望ましい人間関係の育成
 - 教育相談日の設定、スクールカウンセラ、心のふれあい相談員の活用
 - SCによる5年生の全員個別面談
 - 学校評議員、保護者、地域との連携
 - セーフティー教室・情報モラル講習会の実施
 - 校外における生活指導の充実
 - いじめ根絶への意識化

- #### 進路指導の指導の重点
- 自尊感情に基づいた自己実現
 - 生きがいある生活、意欲の育成

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ○発問・板書・ノート指導を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前を丁寧に書く指導を徹底する。 ・学習課題を提示し、考えやすい発問をする。 ・めあて・展開まとめが分かる板書。 ○思考力・判断力・表現力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・導入時に既習事項の確認をする。 ・児童の発想を大切にしたい「聞き合い」「話し合い」「発表・説明」を設定する。 ・思考時間の確保。 ・検討する活動を取り入れる。 ・毎時間振り返りをする事で、自己評価させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科・総合的な学習の時間の全体計画を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間を弾力的に運用し、調べ学習の時間を確保する。 ・各教科・領域と総合的な学習の時間を関連させた指導を計画し、実施する。 ○朝のモジュールタイムを授業と位置付け、授業時数を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュールタイムを国語の漢字や短文、算数の計算、英語のドリルなど基礎的な学習に取り組む時間と位置付け、活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究「一人一人が生き生きと学ぶ児童の育成」～伝え合う力、コミュニケーション能力の育成を目指して～ <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れながら、児童のコミュニケーション力を育む。 ・児童の発達段階に合わせた年間指導の作成。 ・年2回の学級実態調査を実施し、学級の実態を分析・把握し、学級経営・個別の対応にかす。 ・来年度以降に向けて、ソーシャルスキルトレーニングと教科とを関連付けた研究について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表の工夫・改善を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・通知表の所見では、児童の様々な活動を具体的に記述できるように工夫する。 ○評価方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に即して効果的な評価方法を開発・実践していく。 ・児童の実態を踏まえ、目標を明確にした授業を推進し、評価の結果をその後の指導に生かす。 ○個に応じた指導を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業ごとの評価を生かして、補充的な学習や発展的な学習を設定し、個に応じた指導を実践していく。 ・形成的評価を活用した指導を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価を生かした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・校長の学校経営方針に基づく教育活動の充実や教員の資質向上を図る。 ・特色ある学校づくりを進め、児童の実態に即した個性を生かす教育の展開を図る。 ・教育活動全般を見直し、改善・充実を図る。 ・学校・家庭・地域社会が一体となった学校づくりを図る。